

# 道路嵩上げ案における騒音予測結果

## 騒音対策に関するこれまでの検討状況

### 第2回対策素案

設置位置：歩車道境界



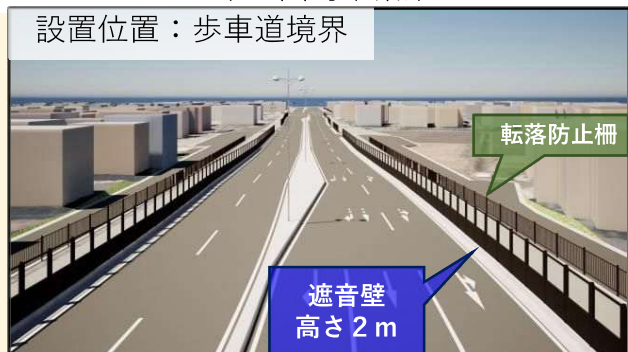
### 【第2回オープンハウス型説明会の御意見（抜粋）】

- ・ 低層遮音壁を設置することで、環境基準値未満に収まることが分かった
- ・ 遮音壁の高さが低く、効果がないように思った
- ・ たった1mの柵のような壁を言っているのではなく、高速道路に設置されているような遮音壁としてもらいたい

これらの御意見を踏まえ、騒音予測条件を一部見直し、遮音壁の設置箇所及び必要な構造を検討

### 第3回対策素案

設置位置：歩車道境界



設置位置：官民境界

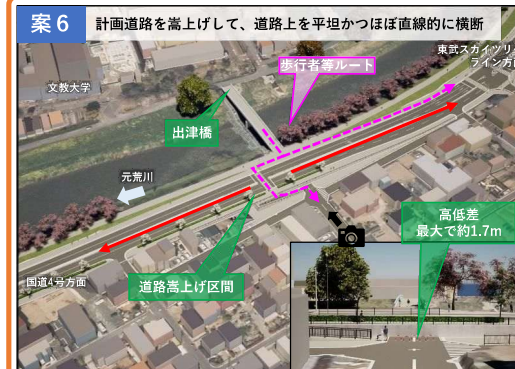
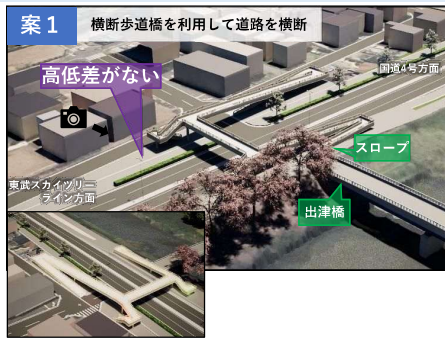


### 【第3回オープンハウス型説明会の御意見（抜粋）】

- ・ 歩車道境界に遮音壁を設置する場合であっても上半分が透明ならば、歩行者等を視認しやすい。
- ・ 官民境界に高さ3mの遮音壁を設置する案は、住宅のすぐ横にグレーの遮音壁でプライバシーに配慮しつつ、見通しを確保するため接道箇所を透明板としている点はよいと思った。
- ・ No.3（近隣商業地域）も他の地点と同様に遮音壁を設置してほしい。

# 出津橋周辺の円滑な道路横断手法

一方、出津橋周辺における円滑な道路横断手法として、これまで以下の検討素案を提示  
これまで、騒音予測上は、案1のように北越谷地区と浦和野田線に大きな高低差がない道路形状を想定していた



## 第3回オープンハウス型説明会 主な提案ポイント

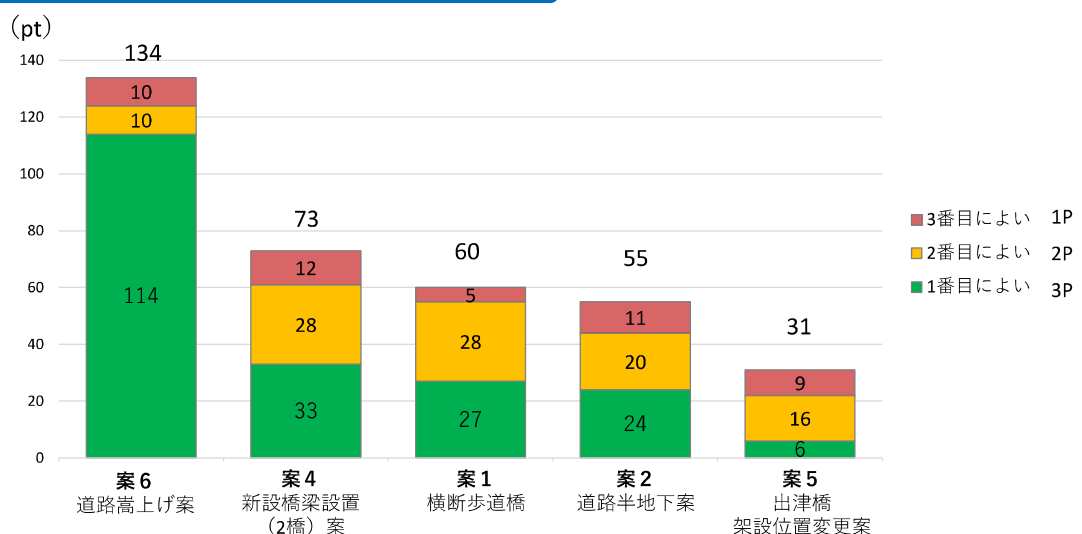
- ・歩行者及び車いす利用者が  
出津橋から平坦かつ  
ほぼ直線的なルートで  
横断可能
- ・スロープや階段の高低差は  
案1の半分以下

- ・案3は交通安全上実施しないため、掲載していません
- ・各案の概要は、展示パネルを御覧ください
- ・表示している内容は素案であり、確定しているものではありません

2

出津橋周辺における円滑な道路横断手法に関するアンケート結果では、案6の投票ポイントが最も多かった併せて、道路嵩上げ後の騒音予測結果を求める御意見があった

## 第3回オープンハウス型説明会 アンケート結果（抜粋）



※アンケートに回答いただいた方だけの意見であり、参加者全員の意見が反映されているものではない。

(回答数 65件)

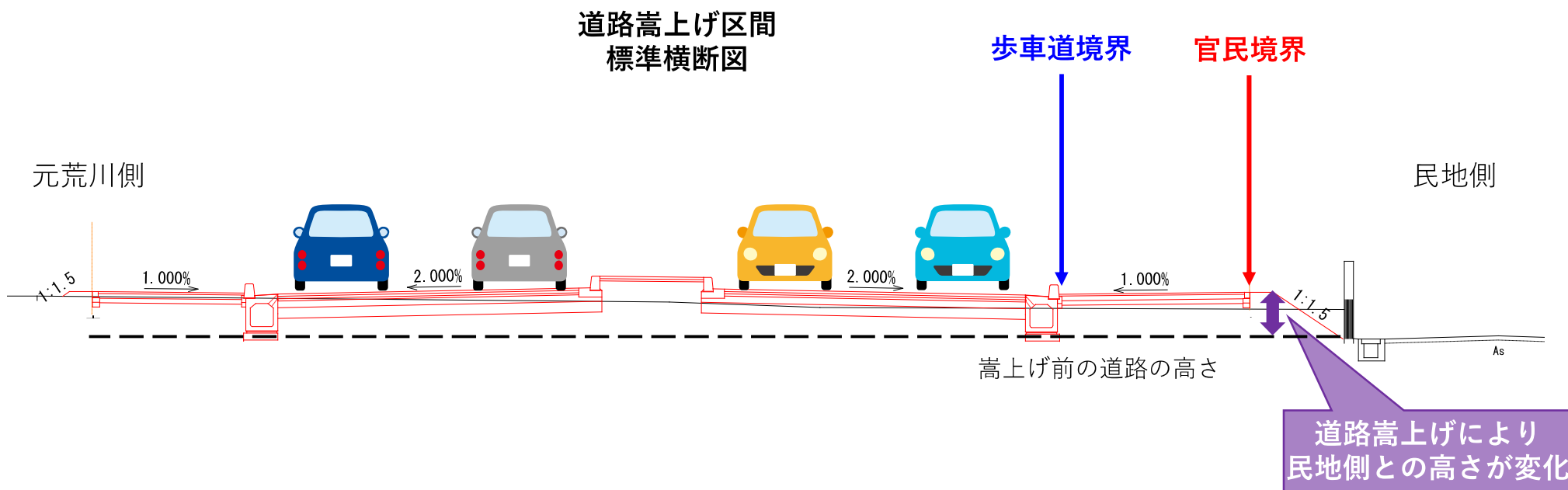
令和8年度は道路嵩上げ後の騒音対策について検討した

# 道路嵩上げ案における騒音予測結果

## 道路嵩上げ案をベースとした騒音予測

### 騒音予測条件

- |                                |         |
|--------------------------------|---------|
| ① 環境基準値以下となるように遮音壁を設置          | (前回と同様) |
| ② 騒音の予測地点は、前回の結果と比較可能な4箇所      | (前回と同様) |
| ③ 遮音壁の設置箇所は「歩車道境界」「官民境界」の2パターン | (前回と同様) |
| ④ 道路嵩上げによる騒音発生位置(路面)の高さの変化等を考慮 | (新たな条件) |



<備考>

- 音は拡散するため、音源(車両)に近い位置で音の抑制対策をした方が効果は高い  
※歩車道境界及び官民境界に同じ高さの遮音壁を設置したと仮定した場合

# 道路嵩上げ案における騒音予測結果

令和8年度騒音予測箇所位置図



幹線交通を担う道路に近接する空間の環境基準値

No.1

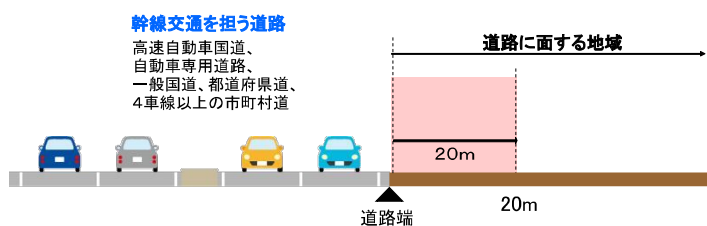
No.2

No.3

No.4

【4箇所共通】

道路と民地の境界から 20mまでの建物に対する環境基準値は下表のとおり

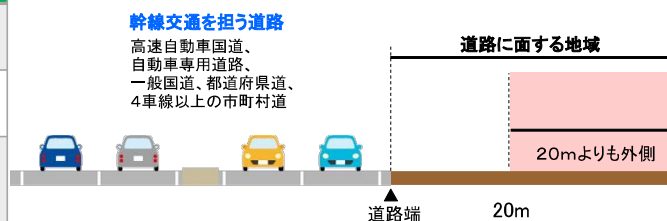


| 幹線交通を担う道路に近接する空間   |                     |
|--------------------|---------------------|
| 昼間<br>(6:00～22:00) | 夜間<br>(22:00～翌6:00) |
| 70 dB以下            | 65 dB以下             |

20mよりも外側の住宅（道路に面する地域）に対する基準値

20mよりも外側の建物に対する環境基準値は地域別の基準値を適用

| 適用環境基準  | (A地域)             | (C地域)   |
|---------|-------------------|---------|
| 背後地（昼間） | 60 dB以下           | 65 dB以下 |
| 背後地（夜間） | 55 dB以下           | 60 dB以下 |
| 該当箇所    | No.1 No.2<br>No.4 | No.3    |



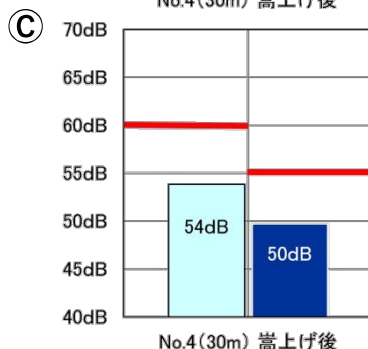
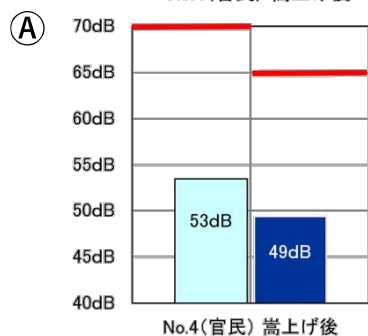
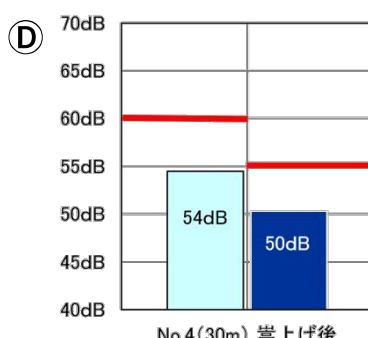
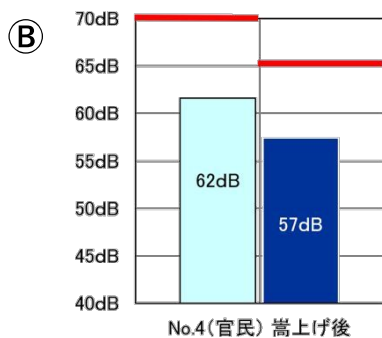
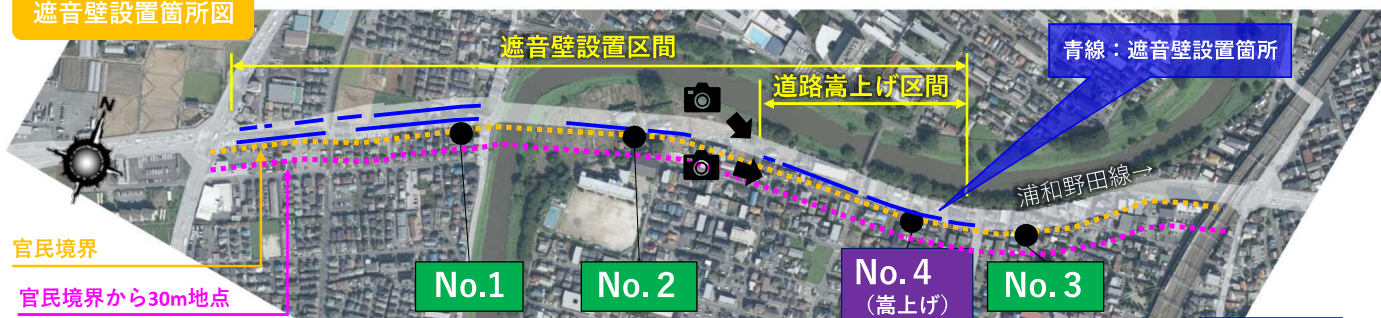
補足：A地域は住居専用地域、C地域は商工業地域

# 道路嵩上げ案における騒音予測結果

## 「歩車道境界」に遮音壁を設置した場合の騒音予測結果

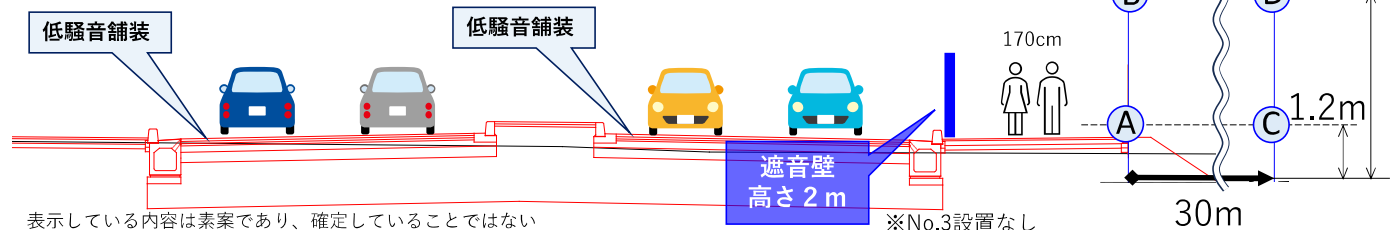
- 道路嵩上げ後においても、高さ2mの遮音壁を「設置箇所図」のとおり設置することで、環境基準値を下回った（No.1、No.2、No.3については、道路嵩上げ前の結果（前回予測値）と変化なし）
- なお、No.3は遮音壁がなくても環境基準値を下回った

遮音壁設置箇所図



### 凡例

- : 昼間
- : 夜間
- : 環境基準値
- (A) (B) (昼) 70dB / (夜) 65dB
- (C) (D) (昼) 60dB / (夜) 55dB



表示している内容は素案であり、確定していることではない

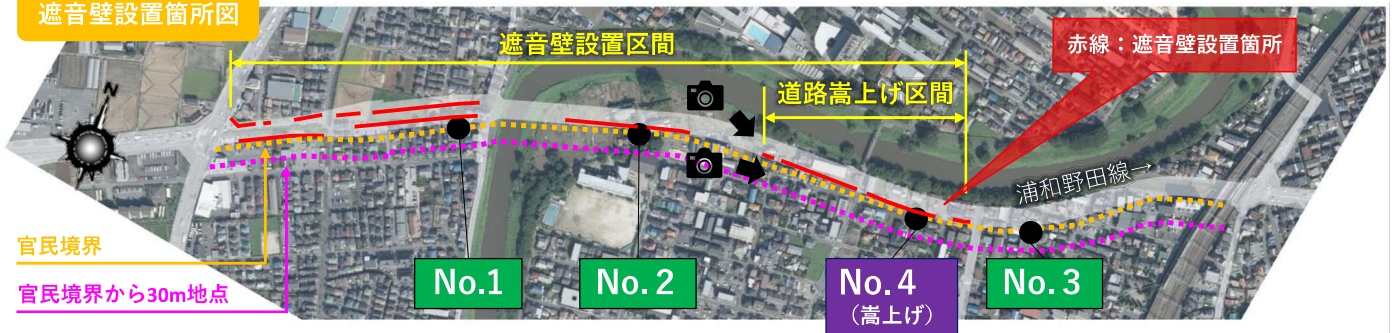
※No.3設置なし

# 道路嵩上げ案における騒音予測結果

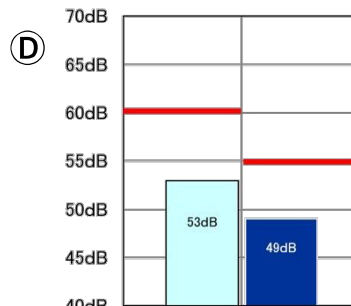
## 「官民境界」に遮音壁を設置した場合の騒音予測結果

- 道路嵩上げ後においても、高さ3mの遮音壁を「設置箇所図」のとおり設置することで、環境基準値を下回った
- なお、No.3は遮音壁がなくても環境基準値を下回った

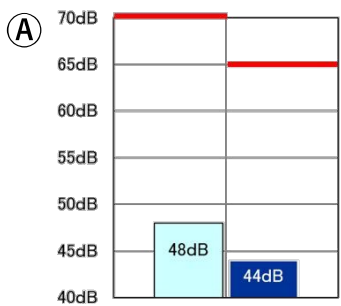
遮音壁設置箇所図



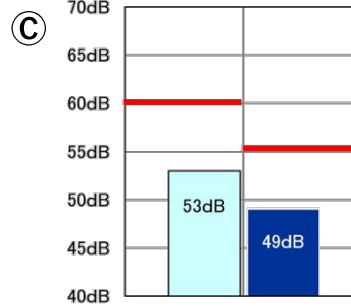
No.4(官民) 嵩上げ後



No.4(30m) 嵩上げ後



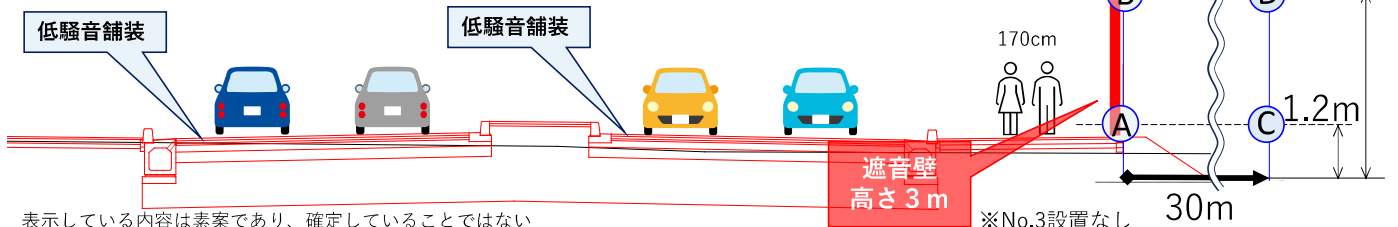
No.4(官民) 嵩上げ後



No.4(30m) 嵩上げ後

### 凡例

- : 昼間
- : 夜間
- : 環境基準値
- (A) (B) (昼) 70dB / (夜) 65dB
- (C) (D) (昼) 60dB / (夜) 55dB

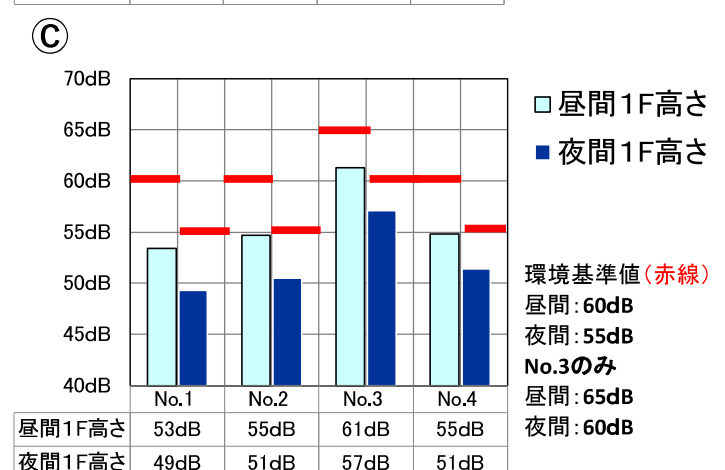
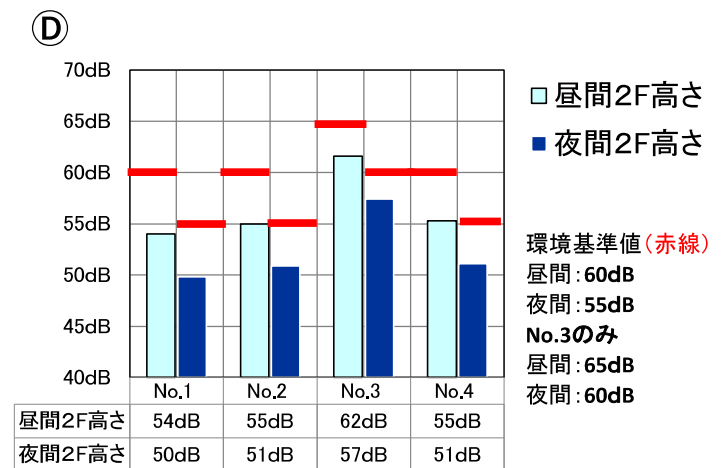
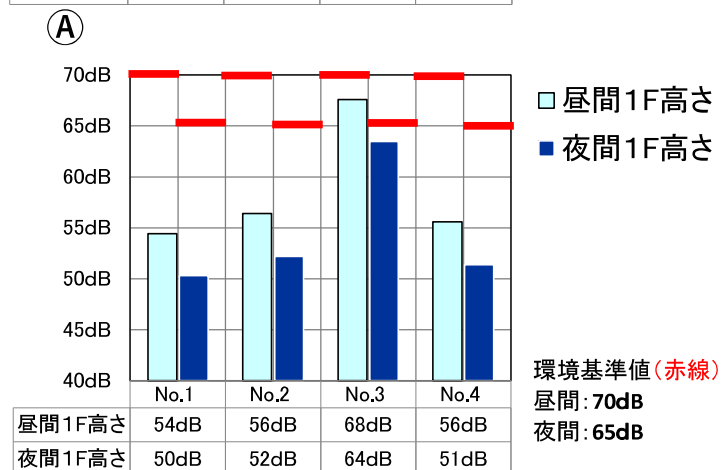
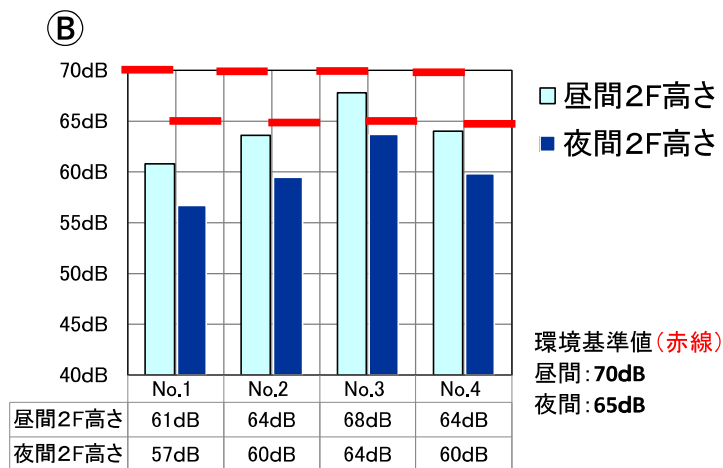


表示している内容は素案であり、確定していることではない

※No.3設置なし

## 「歩車道境界」に遮音壁を設置した場合の騒音予測結果

- 高さ2mの遮音壁を「設置箇所図」のとおり設置することで、各予測地点で環境基準値を下回った
- なお、No.3は遮音壁がなくても環境基準値を下回った

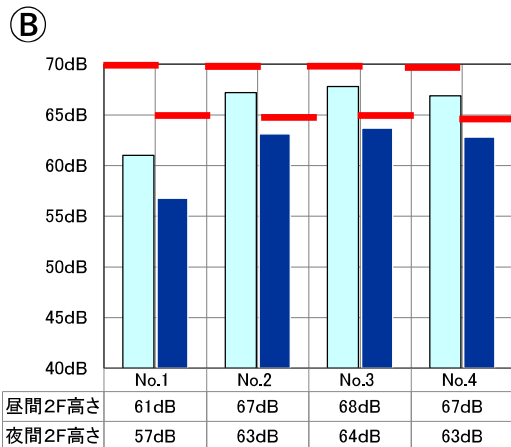


表示している内容は素案であり、確定していることではない

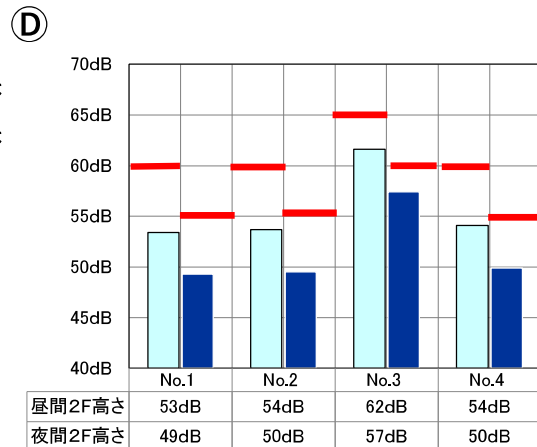
## 「官民境界」に遮音壁を設置した場合の騒音予測結果

- 高さ3mの遮音壁を「設置箇所図」のとおり設置することで、各予測地点で環境基準値を下回った
- なお、No.3は遮音壁がなくても環境基準値を下回った

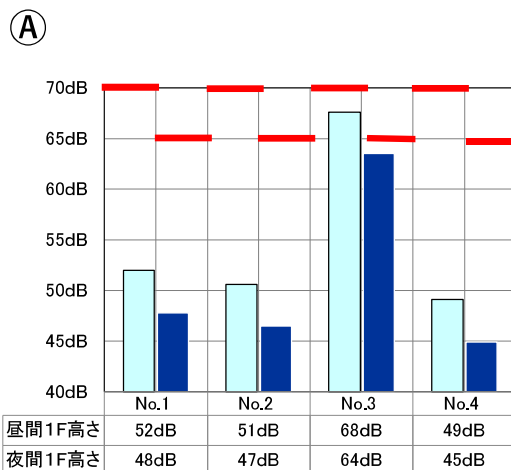
遮音壁設置箇所図



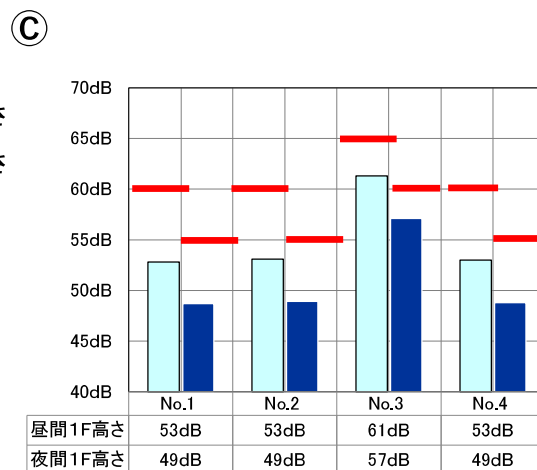
環境基準値(赤線)  
昼間: 70dB  
夜間: 65dB



環境基準値(赤線)  
昼間: 60dB  
夜間: 55dB  
No.3のみ  
昼間: 65dB  
夜間: 60dB



環境基準値(赤線)  
昼間: 70dB  
夜間: 65dB



環境基準値(赤線)  
昼間: 60dB  
夜間: 55dB  
No.3のみ  
昼間: 65dB  
夜間: 60dB

表示している内容は素案であり、確定していることではない